



関西大学大学院外国語教育学研究科
英語教育連環センター（e-LINC）主催 2025年度講演会

外国語教育研究における リサーチ・アジェンダを考える

中田 賀之 教授

(同志社大学 グローバル・コミュニケーション学部)

2025年10月 9日(木)

6 限目 18:00-19:30

関西大学千里山キャンパス

岩崎記念館 4階 F401

Sign Up Here

○参加費 無料

○事前申込み 必要

申込み×切:

2025年10月1日(水)

<https://forms.office.com/r/7qKzS411lz>

※リモート履修制度による受講生で参加を希望される方は
外国語教育学研究科オフィスまでお問合せください。



Abstract:

我々は何のために研究し、誰にその成果を伝え、
そのことで何が起ることを想定しているのだろうか。
また、量的・質的研究に関係なく、理論・研究と実践の往還を
もたらす研究とは、一体どのようなものだろうか。本講演では、
いくつかの研究事例を参照しつつ、研究・理論と実践を往来しつつ
リサーチ・クエッション・研究計画・分析方法・先行研究と研究を
進めていく上でのリサーチ・アジェンダの果たす役割について、聴
衆の皆様と一緒に考える機会としたい。

Bio:

中田 賀之 (なかた・よしゆき/Dr. Yoshiyuki Nakata)

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部教授。兵庫教育大学
大学院・連合大学院准教授を経て、2015 年より現職。UNSW Sydney,
Visiting Fellow (2024-2025)。主に外国語学習（特に学校文脈）にお
ける動機づけとclassroom climateの関係、自己調整学習、学習者・
教師 オートノミー等について質的な事例研究に従事する一方、現職教
員と共に「教室内英語評価尺度の開発」や「関係論的ナラティブ探究」
に取り組んでいる。



e-LINC,
Graduate School of
Foreign Language
Education and Research,
Kansai University
(email: gaiji@ml.kandai.jp)